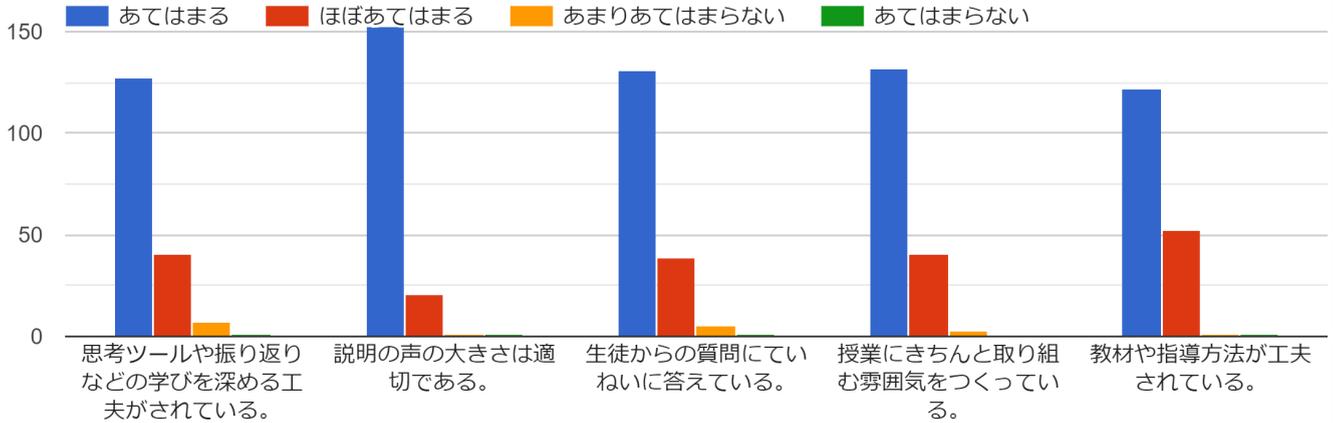


教科名： 社会	重点目標：基本的な知識・理解を定着させ、思考力・表現力を高める授業づくり
---------	--------------------------------------

学習指導に関する現状と課題(1学期 生徒による授業評価アンケートより)

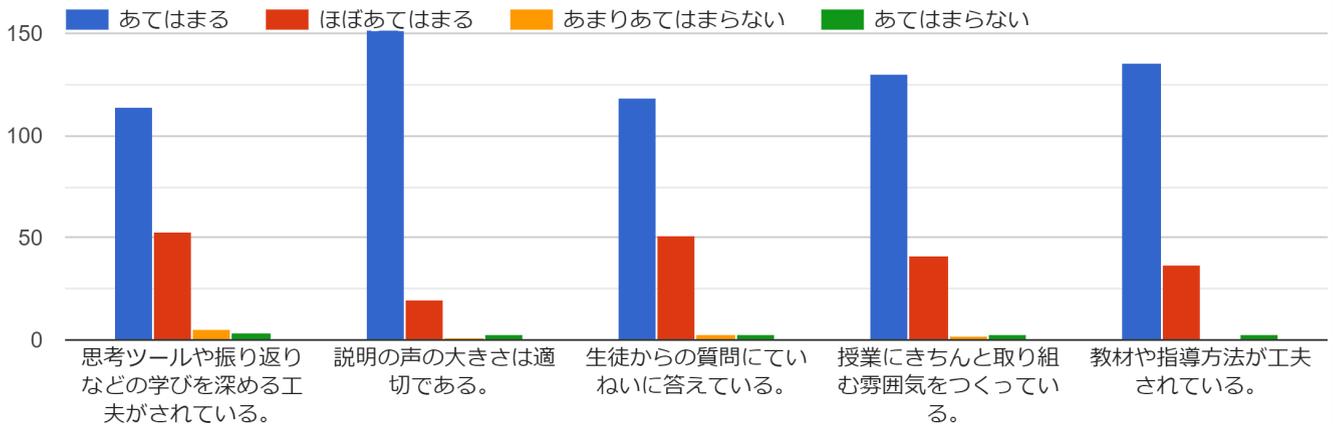
1年 社会の授業について



分析

おおむね、肯定的な評価になっている。今年は思考ツールよりも特に振り返りを意識した授業設定をしていたことが「思考ツールや振り返りなどの学びを深める工夫がされている」という点であまりはてまらないが多かった理由だと考えられる。「生徒からの質問に丁寧に答えている」という点では「ここに注目して考えてみよう」という声掛けを頻繁にするので、そのことが理由と考えられる。考えさせることを軸にして、もう少し答えに近づけられるような声掛けを考えていく。

2年 社会の授業について

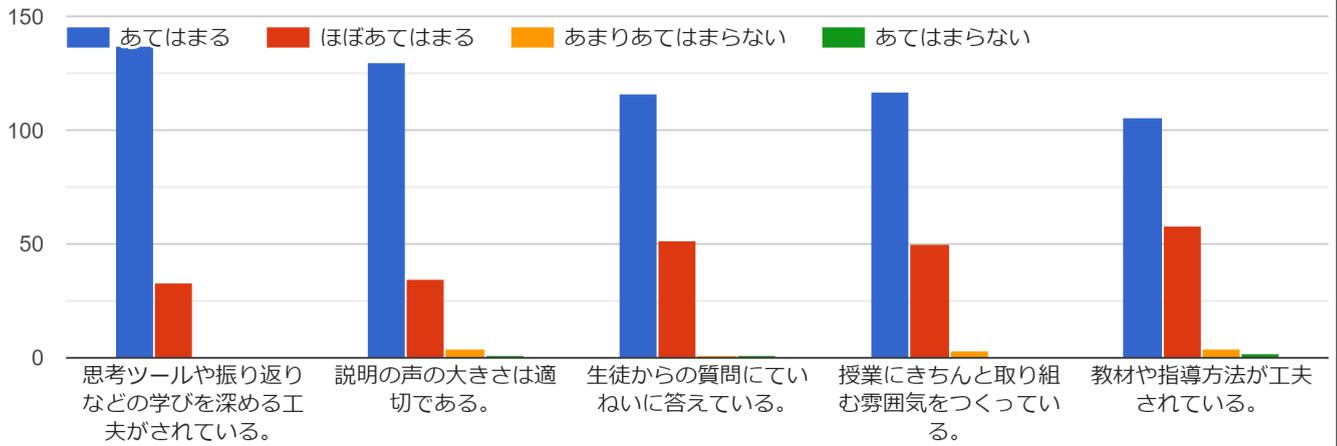


分析

概ね肯定的な評価となっている。今年度からの3観点の評価・評定を考え、振り返りという部分に重きを置いて取り組んだが、生徒たちに充分浸透しているとは言い難い結果となった。しかし、昨年度の課題であった「授業にきちんと取り組む雰囲気をつくっている」の部分で、否定的な意見が少なかったことは、今年度、教科書や資料集のページを黒板に大きく書き残しておくことを意識した結果、そのタイミングで所定のページを開けなかった生徒が、周りに聞いたりするという行為を減らすことに繋がったと考える。振り返りの内容を充実させることで、「生徒の質問に丁寧に答えている」にも繋がっていくので、更なる振り返りの充実を

図りたい。

3年 社会の授業について



分析

おおむね肯定的な評価になっている。ほぼ毎時間、思考ツールを使って班活動しそれぞれの考えを共有している。また、毎時間振り返りプリントを書かせることによって授業の定着を図り、生徒自身が主体的に考え、深い学びに繋がっていると考え。一方で、低い評価を示している項目もある。「説明の声の大きさ」については、教室全体に伝わる大きさを話すように心がけ、「授業にきちんと取り組む雰囲気」については、メリハリのある雰囲気をつくろうと思う。例えば、活動させた後の説明では、全員の顔が上がるように声かけをしたり、班ごとの発表の際には発表を聞く雰囲気をつくっていきたい。「教材や指導方法」については、1学期に行った授業内容を振り返り、動画なども取り入れ、視覚で分かる教材を多く取り入れたい。さらに、同じような授業内容にならないように、毎回班活動を取り入れるのではなく、個人でしっかりと考える時間を取るなど、単元によって指導方法を変えていく工夫も必要と考える。